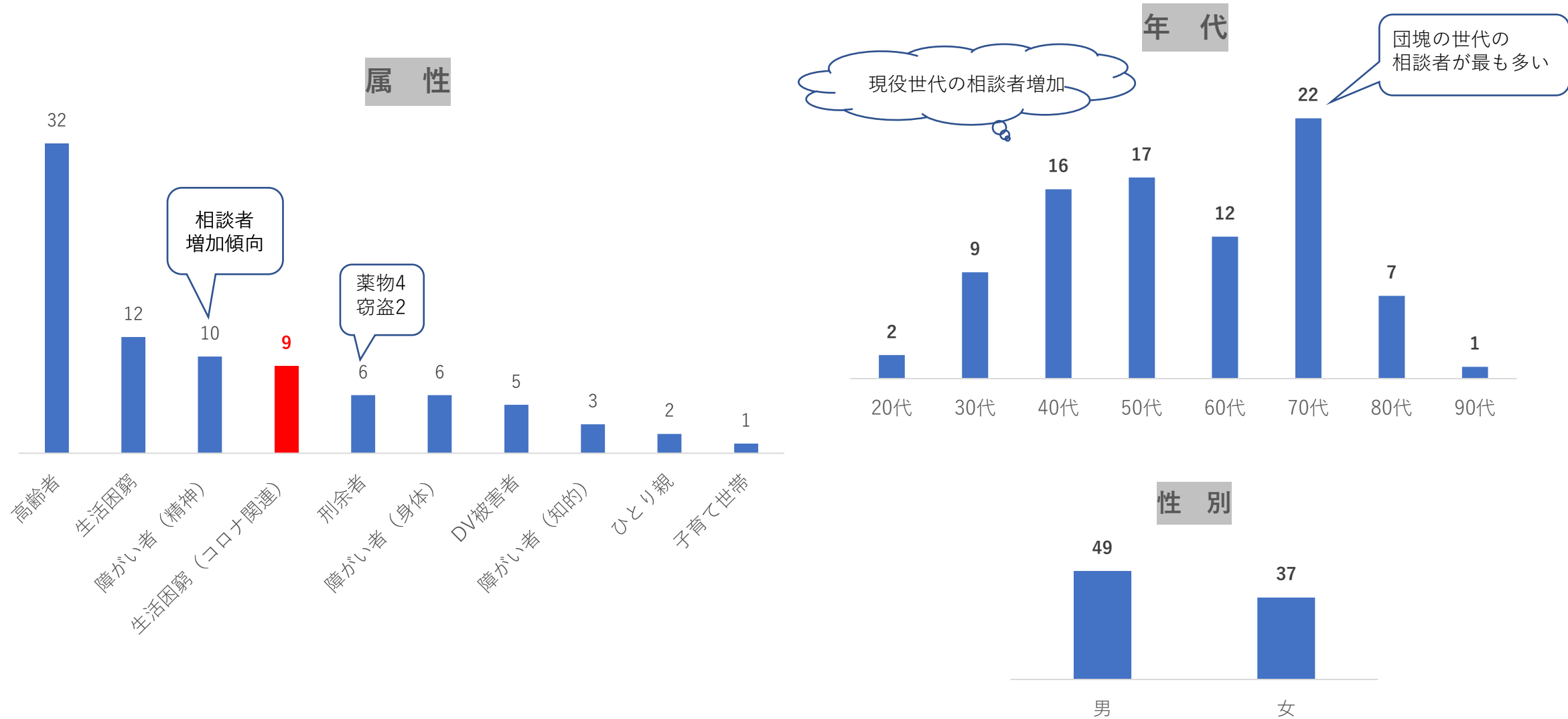


令和3年度 岩手県居住支援協議会 セミナー 活動報告

～地域で支えあう居住支援～

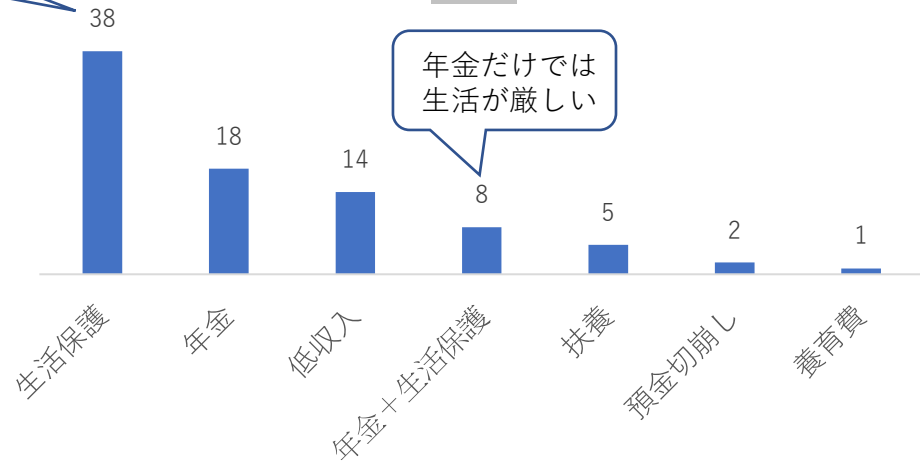
一般社団法人ミンナソラノシタ

相談者数86人（令和3年2月1日～令和4年1月31日）内訳



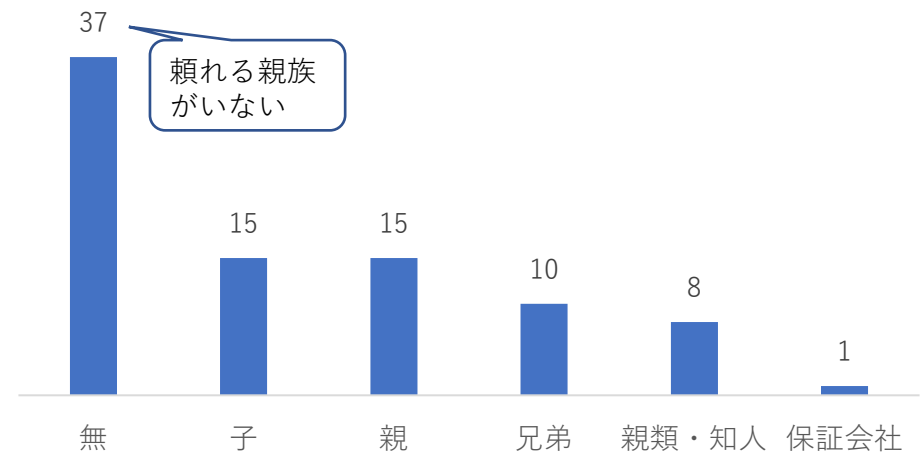
受給者増加

生計



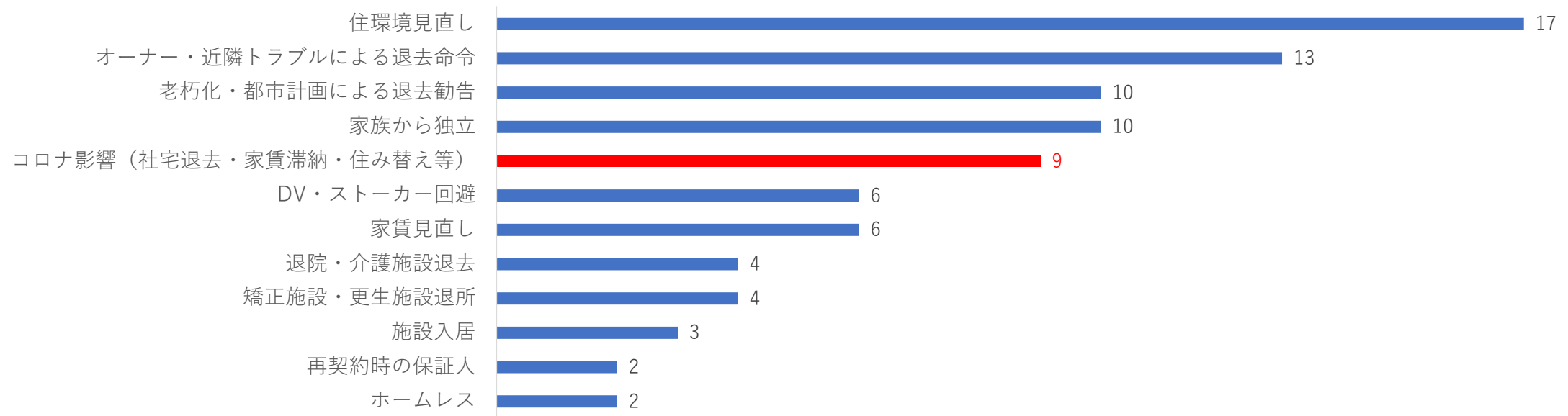
年金だけでは生活が厳しい

保証人・緊急連絡先



頼れる親族がない

転居・相談理由

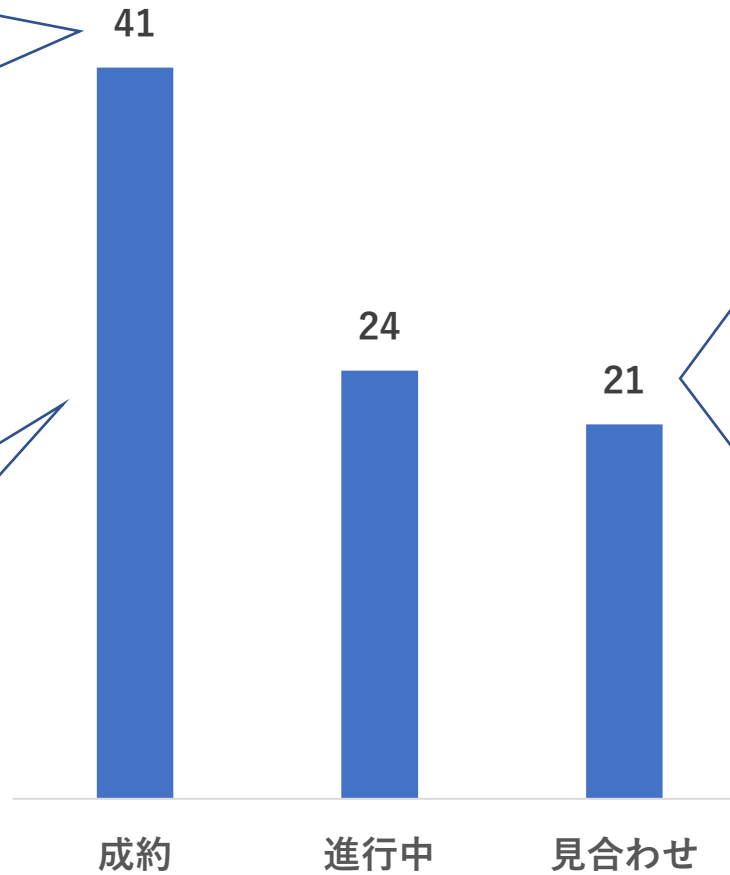
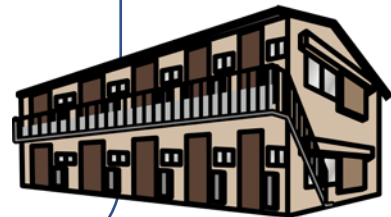
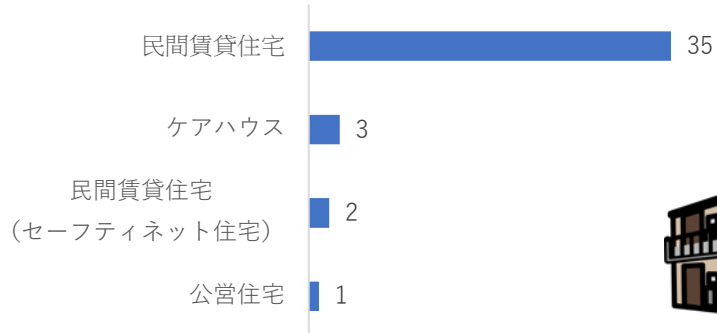


成約状況

入居者 属性



入居物件種類



【見合わせの理由】

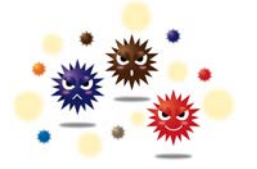
- ・ 緊急性がない、転居時期検討
- ・ 現状維持
- ・ 体調が悪く引っ越しする体力がない
- ・ 引っ越し費用、初期費用がない
- ・ 親族等の他者が支援
- ・ 自身で公営住宅申込
- ・ 親族と同居
- ・ 現在の荷物の量等と払える家賃や希望する地域の整合性が取れず迷っている (荷物の処分に抵抗あり)
- ・ 相談後に死亡 等

相談者のデータから見る居住支援の課題

近年の社会情勢により住宅確保要配慮者の困難な状況が続いています!!

①生活困窮者増加

- ・背景…長引くコロナ不況により現役世代の居住相談や生活保護申請が増加
- ・課題…減収や失業等により住居にも影響が及んでいる



②単身高齢者増加

- ・背景…核家族化、平均寿命の延伸、親子関係の軋轢等により約半数の相談者が65歳以上の単身高齢者
- ・課題…孤独死、生活意欲の低下、孤立・孤独防止対策



③頼れる親族がない

- ・背景…離婚、虐待、死別、金銭トラブル、刑余等により親族と絶縁状態等負の連鎖を生む場合も…
- ・課題…保証人や緊急連絡先がない、孤立・孤独防止対策

④心の病の増加

- ・背景…ストレス社会、仕事・家庭・学校・病気・高齢・日常生活・コロナ禍等が要因社会的孤立や不安感
- ・課題…近隣トラブルやゴミ屋敷等のリスクにより賃貸人が入居を懸念、入居審査のハードルも高い、ストレスが軽減できる物件探しの難航



居住相談解決ケース

◆ケース 1 70代女性Sさん

【相談理由】

ゴミ屋敷の中で衰弱し救急搬送、悪臭とカラスの群れにより近隣から苦情あり、入院中に退去命令、支援団体により家具家電処分済み、大家さんからは生活圏を変えてほしいと要望あり。退院後、病院系列の介護施設に仮入所、退所後のアパートを探してほしいと医療ソーシャルワーカーより依頼。頼れる親族なし。

【解決策】

ゴミ屋敷対策と体力回復に向けてケアマネージャーと入念に打ち合わせし大家さんの理解と居場所の確保に努める。精神的な安定のために信頼関係を築きながら慎重に通院可能な入居先を決定。

【転居支援】

所持品は衣類等の身の回り品のみとなったため、リサイクル家具家電一式を調達し運搬。転居に伴う諸手続きの同行支援を行った。

【当面の見守り】

介護申請を視野に入れ、体力が回復するまで月1回持病の受診を同行し医療医機関との連携を図る。ゴミ屋敷対策と孤立・孤独防止対策のため定期訪問し、生活意欲の向上を促し自己管理意欲を引き出している。



居住相談解決ケース

◆ケース2 40代男性Oさん

【相談理由】

賃貸借間トラブルにより退去命令、希望物件見つけるが入居審査の通過ならず転居が難しいとケースワーカーより依頼。頼れる親族なく身体障がいとペット飼育のため入居できる物件も限られた。

【解決策】

審査に通過できない理由とその対策を審査会社に相談、相談者と当法人とで審査通過要件を満たす内容の契約書を締結、この契約書類を管理会社に提出し賃貸借契約の締結に至った。連携先の協力と理解がなければ入居先が決まらなかったケース。



【転居支援】

引っ越しは就労支援を兼ねて見守り中の入居者に依頼。身体に障がいのある相談者に配慮し残置物撤去・荷造りと荷解き・生活用品等の調達等、退去と入居の支援を行った。無事入居先が決まり安堵した様子。入居に際し骨を折っていただいた方にも今後トラブルがないように肝に銘じたいとのこと。今後も声がけと見守りの継続が必要である。



居住相談解決ケース

◆ケース3 70代男性Mさん

【相談理由】

高齢とコロナの影響あり徐々に自営業のお客さんが減少、6ヶ月家賃滞納により退去命令。軽トラックで荷物運搬中、民生委員の声かけで当法人の居住支援を紹介される。所持金は数百円、数日まともな食事の摂取なし、軽トラックで車上生活を送ったのち相談に至る。妻は数年前に他界、息子たちとは軋轢があり疎遠となっている。



【解決策】

荷物は家族の物や大工道具が大量にあり広い部屋を希望するが、家賃滞納のほか妻が本人名義で作ったカードローンの負債あり入居審査通過ならず、別物件の大家さんに直談判し即入居可能となった。

【転居支援】

軽トラックの処分に抵抗あり生活保護申請に踏み切れなかったが、年金額少なく体力的に今後の就労も難しいため保護申請を決意。入居と保護申請の手続き同行、布団や食料支援等を行った。

【当面の見守り】

生活保護法に基づいた生活全般の見直しや今後の生活のアドバイス、司法書士や専門家の助言により債務整理手続き、田んぼや軽トラックの財産処分のため各所管へ同行。現在は諸手続きが終わり不安軽減。長年保険証を所持しておらず病院にもかかれなかったが、歯の治療を開始、健康管理を意識し生きる希望が持てるようになってきた。

居住相談解決ケース

◆ケース4 30代男性Iさん

【相談理由】

精神疾患あり障がい者年金受給、関東のグループホームに6ヶ月入所しA型就労を試みるも施設の利用料4ヶ月滞納と就労先や施設での人間関係がうまくいかず、姉の居住先に近い盛岡で再起したい。過去に自己破産歴あり、保証人もないため自身での契約は難しい。

【解決策】

精神疾患のある方は大家さんが懸念するケースが多いうえ当人は金銭管理も難しい方、単に居住先を紹介するのは双方のリスクが大きいため、入所先のグループホームや盛岡の障がい者支援センター、不動産管理会社と入念に対策をとり、初期費用分割交渉と納入方法および家賃滞納が生じない方法を本人と相談し誓約したうえで契約に至った。

【転居支援】

手荷物一つで盛岡駅に到着しそのまま契約と入居支援、管理会社のご好意で家電は用意してくださる。寒冷地での生活に向けた暖房用品や冬物衣類、布団や生活用品等の購入同行やリサイクル品の調達等、新生活スタートの支援を行った。

【当面の見守り】

住民異動と盛岡での福祉サービスの手続き同行、就労支援として本人の意向や負担の少ない働き方の提案と社長面接を同行、職場の理解を得て近々就労開始予定。今後も孤立・孤独防止対策として、生活相談、就労相談、金銭管理等の見守りが必要である。



孤立・孤独防止対策としての見守りケース

◆ケース1 70代Mさん（女性）入居までの経緯

【相談理由】 アパートの環境が悪く持病悪化、大家さんとのトラブルあり早急に引っ越したい（これまで自費で単身の転居を繰り返す）

【希望物件】 生活保護の住宅扶助内、持病の負担軽減、通院可能な地域

【入居前支援】

- ①物件案内同行
- ②受診同行、担当医に病状説明、病院から福祉事務所に病状連絡、転居(転居費用)許可
- ③地域包括と連携、介護（再）認定、転居先での介護保険につなぐ
- ④持病がさらに悪化、通院補助と並行して引っ越し支援
- ⑤契約時立会い、緊急連絡先
- ⑥退去時立会い、家財整理、大家さんとのトラブル対応
- ⑦家具家電の調達運搬、地域包括・民生委員との連携、ご近所挨拶回り同行、転居先での暮らし方、転居に伴う諸手続き



70代Mさん（女性） 家族関係図と社会資源

【国・自治体等公的な社会資源】

ケースワーカー

地域包括

介護センター

かかりつけ医・医療機関

アパート管理会社

ヤクルト販売員
スーパー・ドラッグストア

銀行・郵便局

ガス会社

【営利の社会資源】

【生計】
年金
生活保護

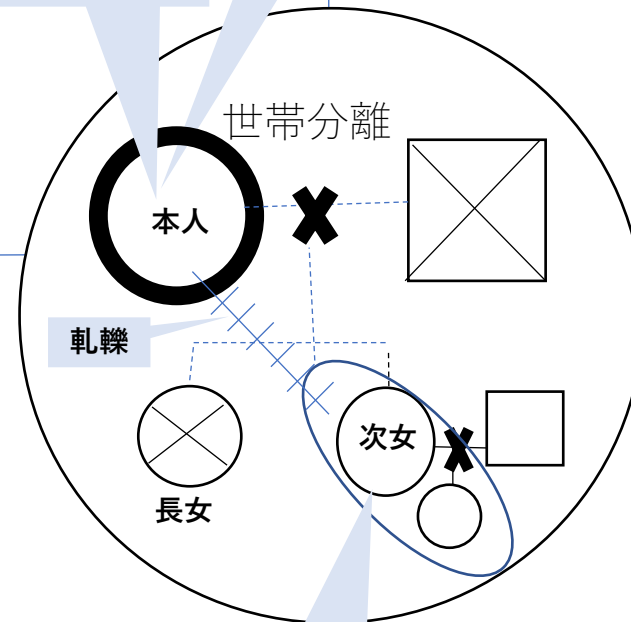
【非営利の社会資源】

ミンナソラノシタ

マーカー…連携支援
太字…連携可能

民生委員

娘親子との同居
を望んでいる



幼少期からの親子間の葛藤
があり同居に踏み込めない

次女親子

義弟夫婦

元同僚

ご近所さん

【個人に関する社会資源】

70代Mさん（女性）入居中支援

◆転居後の困りごとや心配ごと

- ①夫の死を境に喪失感（孤独・不安）
- ②娘や孫とまた一緒に住みたい… 施設で暮らそうか…
- ③娘と住むための準備資金がない 等

◆孤立・孤独防止の取り組み

- ①娘と面談し双方の気持ちの擦り合わせ
- ②関係機関との連携により地域での自立につながるきっかけづくり
- ③見守りの継続と地域での暮らし方や金銭管理のアドバイス 等



少しずつ…
生活改善
意欲向上

・心配ごとの軽減
・居場所づくりと生き
がづくりの創出

・デイサービス利用
・手仕事
・サロンやボランティア
への参加意欲
・生活費のやりくり
・生活環境の改善

展望

・社会とのつながり
・地域での安心感の
ある暮らし
・介護予防